



円安、ドル高ってどういうこと

円の値打ちが下がれば、円安・ドル高

1ドル100円だとすると、アメリカで1ドルのパンは、日本円で100円です。それが、80円で買えるようになると、20円分払わなくてすむわけですから、円の値打ちは上がったということになり、これを円高のドル安といいます。ぎゃくに120円でないと買えなくなれば、さらに20円よけいに払うわけですから、円の値打ちは下がったことになり、円安のドル高というわけです。

海外旅行であまったドルを銀行に持って行って、円にとりかえてもらう。これはドルで円を買うということです。このように外国のお金を売り買いすることを、「外国為替」といいます。

この外国為替市場で円の値だんが決まりますが、それを「円相場」といいます。

せり売りの場合とりくつは同じ

円が高くなったり、安くなったりするのは、だれかが決めることではなく、円を買いたい人が多いか少ないか、によります。多いと円の値打ちが高くなり、少ないと安くなります。あなたは「せり売り」を知っているでしょう。ほしい人が少なければ、値だんは低いところで決まってしまうますが、多ければどんどん値が上がっていきます。

このりくつは、円高・円安の場合と同じです。（監修・保岡 孝之）

